

第4回具志頭地域の土地利用に関する勉強会

議事録

日時：令和6年5月21日（火）19:00～20:40

場所：中央公民館具志頭分館

参加者：25名

資料説明後、上地経済建設部長より、第2回各字勉強会で説明していた全世帯へのアンケートは行わず、第3回各字勉強会の参加者へのアンケートを検討していることを説明。あわせて、役場来場を希望する方、WEB回答についても検討していることを説明後、意見交換を行った。

■意見交換

1) アンケートについて、勉強会に参加してもあまり理解していない人もいる。第3回勉強会の参加者だけでアンケートをとって方針を決めるのは、少し乱暴な気がする。それをするなら各字だけの意見交換の機会も作ってはどうか。そのほうが程度理解でき、まとまると思う。そのうえでアンケートをしてほしい。

2) インターネットで情報を拡散しても、年配の方はネットを使わない。広報誌等で勉強会や土地利用について十分に周知をしたうえでだったら、各字勉強会でアンケートを取るのも仕方がないと思う。

3) アンケート調査について、集計結果は公表するのか。
→アンケートの集計結果については報告する。ただし、アンケートだけで判断するわけではない。アンケート結果は判断材料の一つとしたい考えである。

4) 南城市で字後原マージの上の方で、たい肥センターの計画を聞いた。バイオマスの計画にあると地主から聞いた。そのような話を聞いているか。たい肥センターだと臭いが届く可能性もあるため確認してほしい。
→現在ところ情報はもっていない。

5) 勉強会の参加者のみからアンケートをとると、負担がかかる可能性がある。全世帯ではなくとも、各地域から抽出してアンケートをとってはどうか。
→都市計画について知識があまりない中で全世帯アンケートをとると、感覚で決めてしまう懸念がある。3回目の勉強会については周知の仕方を考えて検討していきたい。

アンケート結果だけで判断する訳ではなく、アンケート結果は一つの判断材料と考えている。

これまでの勉強会の意見をみると、市街化調整区域は無いと考えている。準都市計画区域は行政としてもまだ十分に説明できていないところもあるため、もう少し勉強して説明していきたい。

今回の判断ですぐに準都市計画区域を導入するということではない。国土利用計画で今後10年間の具志頭地域の方向性を示すこととなる。具体的に、後原や新城をどのようにするかではなく、準都市計画区域を検討するというレベルで国土利用計画に書くことになる。

その後、実際に導入する場合は、準都市計画区域の指定要件に合うような案を作成し、地域におりていき、地域が納得する形で導入することになる。今回のアンケート結果で何もかも決める訳ではない。

アンケート方法については、抽出した形で問題なければその手法も考える。

- 6) 1 回目の勉強会では準都市計画区域の説明がなかった、その時は現状維持を考えていた。2 回目で説明を受けて、準都市計画区域を一部入れるのもあるかと個人的には思っている。準都市計画区域の事例は沖縄県ではないとあるが、実現は可能なのか。
→資料 7 にある指定要件を満たせば可能性はあると考えている。
沖縄県とは順次調整は行っており、単独非線引き都市計画区域については厳しいことを確認している。準都市計画区域についても今後検討する必要があることを話し合っている。
- 7) 建築制限について、農振白地地域だけに特定用途制限地域を指定することは可能か。
→農振白地地域だけに指定することも可能だし、農用地に指定することも可能である。全体にかけることも可能ですし、一部にかけることも可能。
- 8) 住宅地には全く指定せずに、周辺の白地部分に特定用途制限地域をかけることもできるのか。
→可能ではあるが、特定用途制限地域を集落内に指定しないと集落内で建ててほしくない施設が出来る可能性がある。住環境を守るのとは相反する形になる。住民と話し合い用途混在が起きてても問題ないのであればいいが、住宅地の中に騒音が出る工場ができた場合に問題となる。そういった部分を話し合いの中で検討していく形になる。
- 9) 国土利用計画は必ず提示しているスケジュール通りに行わないといけないのか。1 年間勉強会を開いて次年度アンケートを行うのはまずいのか。説明を聞いていても余り理解が出来ない。勉強会に参加していない地域の方はなおさら理解できないと思う。今年度は勉強会を何度も行い、理解できるよう考えて頂きたい。
→国土利用計画は何時までには作らないといけないというのはない。まだ説明が足りないと言うのであれば 1 年延ばすことも可能。
- 10) 2 回目の住民勉強会の最高人数が 22 名とある。勉強会に参加する人数がどれだけ集まれば役場として十分と判断しているのか。
→字単位で勉強会を行っているが、全体で見れば約 150 人集まっている。各字勉強会は 3 回開催予定であり、次回の第 3 回目はできる限り多くの方に参加してほしいと考えている。
- 11) 来月の区長会が 6 月 6 日にある。区長会が終わった後、具志頭地域だけで担当課も含めて区長の皆さんで意見交換やるのはいかがか。
→次回区長会の後に意見交換を行いたいと思う。
- 12) 町の方針がいつ出るのかスケジュールを教えてください。各字の意見を突き合わせる作業が必要じゃないかと思う。
→スケジュールについて、第 3 回の各字勉強会で町の方針案を示したいと考えている。
これまでの各字からの意見からも市街化調整区域はないだろうと考えている。準都市計画区域も特定用途制限地域についても、各字で考え方が違ってくる。準都市計画区域に入ることになれば、地域から意見をとる必要があると考えている。まずは、町の方針案を先に示したい。事務局としては一部地域を準都市計画区域に入れるのが良いと考えている。
準都市計画区域以外となると、今までと同じ都市計画区域外となり現状と変わらない。今回、国土利用計画のなかで、具志頭地域について「このような形で検討していく」と書くために勉強会を行っている。しばらくは現状維持のままもしくは、準都市計画区域の指定を検討していく、という表現になると思われる。
国土利用計画に載せたからすぐ来年から動くのではなく、指定するために地域の方とさらに細かく今回以上に意見交換をする必要あると考えている。